

「好きと応援」の気持ちが ポジティブなアクションの原動力に



丸井グループの事業や活動の中から、
「一人ひとりの『好き』を応援する」という
今号のテーマと響き合う話題を
二つお届けします。

毎日使って「好きと応援」につながるエポスカード

「ONE PIECE」や「エヴァンゲリオン」、「邪神ちゃんドロップキック」といったアニメ作品、「ちいかわ」などのキャラクター、ゲーム作品やアーティストとのコラボデザインを展開するエポスカード。入会特典でオリジナルグッズがもらえるカードもあり、自分の「好き」をクレジットカードとして毎日持ち歩けることから、特に若い世代の入会が多く、長い期間にわたりご利用頻度高く愛用されています。

近年では自分の「好き」に寄付ができるカードも登場。ご入会につき1000円が徳川美術館に寄付される「とくびぐみエポスカード」や、知的障がいのある作家のアートを軸にライセンス事業を行う「ヘラルボニー」を通し、ご利用額の0.1%分のポイントが作家の創作活動や、福祉団体運営へ還元される「ヘラルボニーカード」もご好評をいただいています。



ちいかわエポスカード
©nagano



邪神ちゃんドロップキックエポスカード
©ユキヲ/COMICメテオ



とくびぐみエポスカード
©The Tokugawa Art Museum



ヘラルボニーカード



ご入会はこちらから

「好き」から生まれる新しい価値観 偏愛メディアにリニューアルした「5PM Journal」

丸井グループの中で、D2Cブランド中心に投資や融資を行う「D2C&Co.(ディー・ツ・シー・アンド・カンパニー)」が、D2Cブランドのキュレーションサイトとして2020年にスタートしたメディア「5PM Journal」。これまでD2Cブランドのストーリーをメインコンテンツにしてきましたが、D2Cブランドの創業者が「自分がほしいからつくる」という愛から商品を生み出している方が多いことに着目し、「好き」に没頭している人の姿を伝えようと、「偏愛」を新たにテーマとして掲げました。突き詰めた好きをまとめる「偏愛メディア」として幅広いジャンルで、こだわった先にある愛を紹介していきます。

偏愛とは、子どものころのように自分の「好き」なことに対してただただ一生懸命な状態のことです。それはモノを対象とするだけでなく、例えば右のおすすめ記事のように「ラジオだけでなく、刺繍だけでなく、両方を掛け合わせたしあわせ」も偏愛、「免許センターで世間の縮図を観察する」も偏愛。さまざまな偏愛を、まさに偏愛者ならではの解釈で紹介し、新しい価値観を届けます。

5PM Journalは「世界中のどこかではもう5時なんだから、勉強とか仕事とか切り上げて飲んじゃおうぜ!」という意味を持つ「It's 5PM somewhere」という英語のイディオムが由来です。そのような想いを込めた名前のように、リラックスしている瞬間にふと童心に戻ったり、知らなかった世界から気づきが得られたりするメディアをめざし、「好き」という気持ちを大切に作る場をこれからもつくっていきます。



「5PM Journal」はこちら

おすすめ記事



刺繍をしながらラジオに耳を傾けたら、
流れる声と時間が人生の強い味方になった夜
ラジオで人の声を聞きながら、刺繍という細かい作業をすると、同じ部屋でパーソナリティが話しているように感じることで得られるしあわせ。作業のお供におすすめのラジオ番組をシェアします。



「世間の縮図」って面白い。
「まだ見ぬ誰か」を知りたい欲求。
運転免許センターには普段自分のまわりにはいない、いろんな人が集まっている。それって「世間の縮図」みたい、という気づきから、どんなコミュニティが縮図に近いのかを探ります。



道内初の「ハルマキギャラクシー」は
美味しい&日本の多様性も考えさせてくれる件
自称「ハルマキスト」の筆者が札幌市にある春巻き専門店を訪ね、定番春巻きからカレー味、スイーツ系の変り種まで試食。春巻きを通して人生を考えます。